

< 2004年9月16日プレスリリース >

<http://narc.naro.affrc.go.jp/chousei/shiryou/press/nouyaku-navi/index.htm>

農薬適正使用判定サーバシステムの開発

- 誤った農薬使用を事前に警告し、適正使用を支援する -

< 当該研究成果のポイント >

独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構中央農業総合研究センターは、先端技術を活用した農林水産研究高度化事業課題において、独立行政法人農薬検査所、ソリマチ株式会社との共同研究により、農産物の生産段階において農薬の適正使用を積極的に誘導・支援する「農薬適正使用判定サーバシステム（略称・農薬ナビ判定サーバ）」を開発しました。平成16年9月から、本システムを一般に公開して実用性の確認と問題点の抽出のための実証試験を行いました。

< 期待される効果・今後の展開など >

農薬の使用基準は、適用作物の拡大など度重なる変更が行われ、非常に複雑化しているのが現状です。また一方で、無登録農薬問題に端を発し農薬取締法が改正され、使用者の基準遵守義務が規定されました。そのような状況において、使用者には確実に使用基準を満たす農薬使用が求められています。

この農薬ナビ判定サーバの利用により、農薬の誤使用が事前に防止されるとともに、今後の展開として農薬の適正使用や減農薬栽培が促進される効果や、また、農薬使用履歴の裏付けとなる客観的データの省力的・自動的な収集・蓄積が可能になることが期待されます。

現在、改良したシステムを用いた実証試験を計画するとともに、多くの方が簡易に使えるソフトウェアの開発、農作業日誌システムとの連携、携帯電話に対応したシステムの改良を行っています。

< 研究所名 > (独) 農業・生物系特定産業技術研究機構

中央農業総合研究センター

< 担当者名 > 農業情報研究部 生産支援システム開発チーム長 南石 晃明

< 連絡先 > 中央農業総合研究センター 企画調整部 情報資料課

前田 榮一

電話 029-838-8979